

報道関係 各位

外来生物はワルモノではない！ 親子で考える『外来生物ずかん』がブームの兆し

老舗児童書出版社、株式会社ほるぷ出版(本社:新宿区西早稲田、代表取締役社長 吉川廣通)は、今話題の外来生物について、子どもにもわかりやすく紹介した『外来生物ずかん』を刊行しました。

●外来生物についての正しい知識を。

全国各地で問題をひきおこす外来生物に対して、悪者というイメージを持っている人が多いかもしれません。でも外来生物には決して罪はありません。この問題の原因は、世界中を移動する人間の活動にあります。外来生物問題を考えることは、私達人間のグローバル化がもたらした環境問題について考えることにもつながります。話題になっている今だからこそ、親子で一緒に外来生物について考えてほしい、そういう思いで生まれた図鑑です。また子ども向けとしては児童書業界初の刊行です。

●監修者がすごい。



監修:五箇公一(ごかこういち)

監修者取材の取次致します。
お問い合わせください。

クローズアップ現代+(NHK総合)や、『全力!脱カタイムズ』(フジテレビ系)など、多数のテレビ番組に出演する五箇公一先生は、国立環境研究所生態リスク評価・対策研究室室長として第一線で活躍、保全生態学の専門家として、啓発活動にも力を入れています。

●わずか3か月で在庫僅少に。

平均単価2,000円程度の児童向け図鑑の中で、『外来生物ずかん』は3,600円と高額ですが、学校関係者からのお問い合わせも多く、わずか3か月で在庫僅少になりました。5月の重版も視野に販売数を伸ばしています。

Snapping Turtle
カミツキガメ 特 緊 飼 は虫類



すどい
くちばしをもつ
カメ

- 分類
カミツキガメ科カミツキガメ属
- もともとの分布
北アメリカ～南アメリカ
- 日本での分布
千葉、静岡
- すんでいる環境
沼、池、河川


前田雄祐 伊豆雄祐 小笠原雄祐

●大きさ
甲羅の長さ最大で50cm

どんな被害があるの?
在来生物に
がみつく

さまざまな在来生物を食べてしまいます。ニホンシガメなど、在来のカメの食べものやすみ場所をうばってしまうだけでなく、小型のカメを食べてしまうこともあります。

水中では意外におとなしいが、岸から上げると攻撃的になり、あばれてかみつこうとする。大きいものにまかれると天けがするるので、決して手をささないこと。



現在2000種いると言われている外来生物の中から、生活に身近な90種と、それに関わる生きもの、あわせて120種以上を豊富な写真とユニークなイラストで紹介しています。(2016年11月刊行)

見る知る考えるずかん『外来生物ずかん』
監修:五箇公一 編著:ネイチャー&サイエンス
イラスト:ひらのあすみ 128ページ 277×210mm
定価:本体価格3,600円+税 (ほるぷ出版刊)

●今こんなことが起きている！（本書より一部紹介）

・ウグイスが巣をかける位置が高くなってきた。

三宅島にイタチが放たれてから10年後の調査で、ウグイスの巣をかける位置が以前よりも約2.5倍高くなっていることが判明しました。

ニホンイタチ

ウグイスが巣をかける位置が以前よりも約2.5倍高くなった。

ウグイスは世の巣を使ってやぶの中に巣をつくる。

ウグイスが巣をかける位置が以前よりも2.5倍も高くなった。

どんな影響があるの？

ウグイスが巣をかける位置が高くなってきた

三宅島にイタチが放たれてから10年後に調べたところ、ウグイスが巣をかける位置が、以前よりも約2.5倍高くなっていることがわかりました。イタチにおそれないため、できるだけ地上から離れた位置に巣をかけるよう、くらしを変えてきたのです。ただ、巣を高くすると、別の敵であるカラスにねらわれやすくなり、巣に卵を産みつけるホトトギスに見つかりやすくなります。上にも下にも敵がいて、ウグイスには試練が続きます。

・日本のオオサンショウウオが危ない！

チュウゴクオオサンショウウオと交雑するおそれがあります。すでに京都の川では交雑種が見つかっています。

チュウゴクオオサンショウウオ

オオサンショウウオ科オオサンショウウオ属

中国

京都

日本のオオサンショウウオが危ない

チュウゴクオオサンショウウオは大型のサンショウウオのなかで、世界最大級の両生類です。一生のほとんどを水中でくらし、おもに夜間に行動します。川の中・上流域の岩穴がある環境を好み、小さいうちは浅いところ、大きくなると深いところでくらし、いつの間にか、日本在来のオオサンショウウオがすむ西日本の川にまぎれこんでいました。

オオサンショウウオのつり

オオサンショウウオの動きはゆっくりですが、目の前を動くものが通ると、すばやく吸い込んで丸のみにしてしまいます。水生昆虫や魚、エビ、カニ、カエルなどを食べます。

どんな被害があるの？

オオサンショウウオ。

日本のオオサンショウウオが危ない

チュウゴクオオサンショウウオと日本在来のオオサンショウウオが交雑するおそれがあります。日本固有の遺伝子は守られなければなりません。すでに京都の川では交雑種が見つかっています。

その他にも…

- ・天然記念物のニホンザルが、アカゲザルと交雑。純血がおびやかされています。
- ・外来生物キョンの増加により、房総半島の農業被害が増加。在来種のニホンジカを脅かしています。
- ・水生生物を食べる外来生物ヌートリア。絶滅危惧種のトンボにも影響しています。

■会社概要

社名：株式会社ほるぷ出版
 本社所在地：〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-20-9
 代表：代表取締役社長 吉川廣通
 設立：平成22年4月1日（創業昭和39年）
 ホームページ：<http://www.holp-pub.co.jp/>
 事業内容：絵本、児童実用、学校図書館用図書の出版、販売

＜本件に関するお問い合わせ＞

株式会社ほるぷ出版 広報大久保こずえ TEL:03-5291-6781 携帯電話:070-5373-5887
 メールアドレス: okubo@holp-pub.co.jp FAX:03-5291-6782